

新居浜市分科会:これまでの取組み・成果と今後に向けて



2025年2月9日
アサヒユウアス株式会社
One Asahiユニット
ローカルSDGs専任リーダー:吉原

About Asahi Group

国内酒類事業



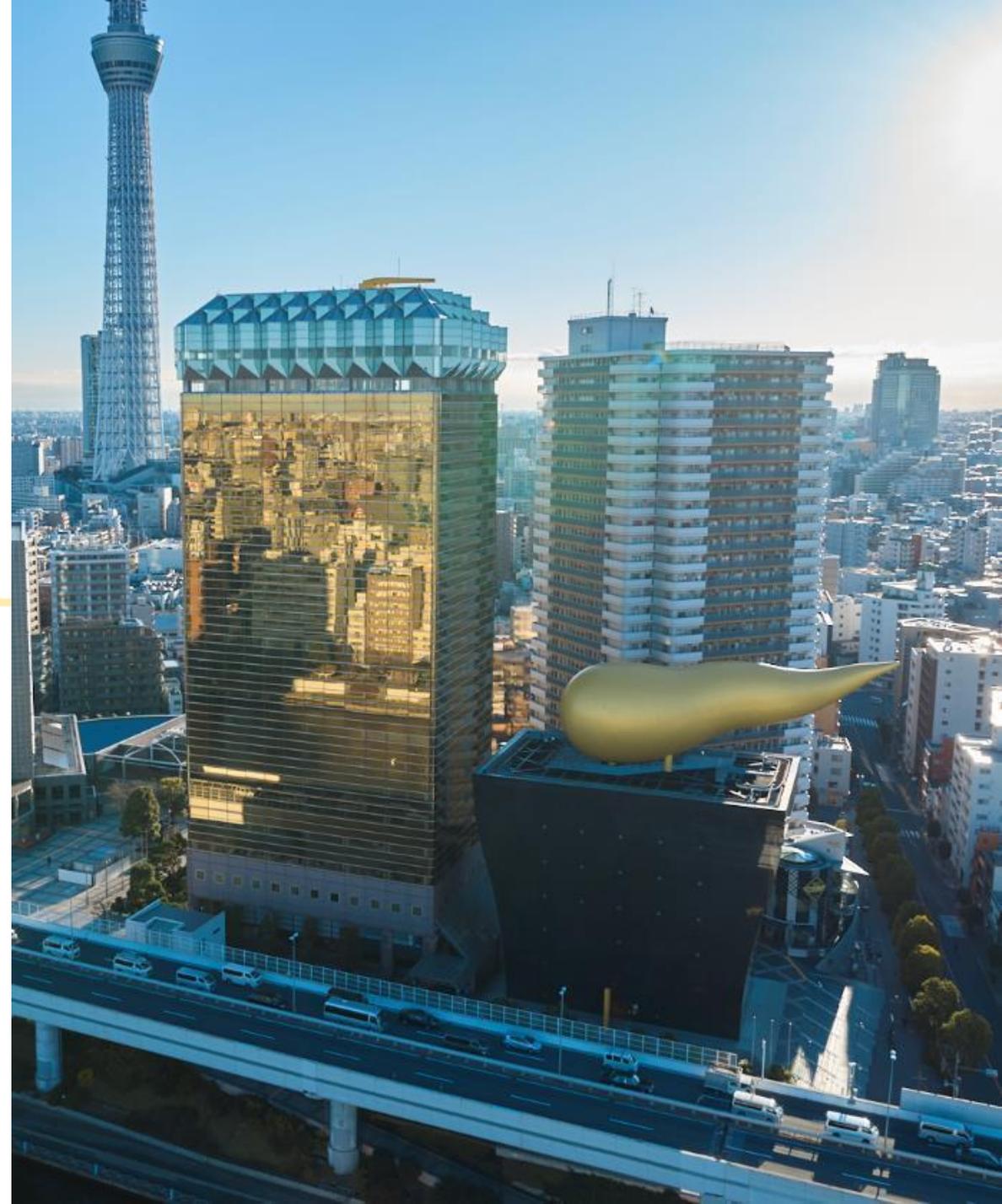
国内飲料事業



国内食品事業



国際事業



アサヒユウアス概要

会社情報	
社名	アサヒユウアス株式会社 / ASAHI YOU.US, LTD
事業開始	2022年1月1日
所在地	東京都墨田区吾妻橋1-23-1(本社) 東京都墨田区吾妻橋1-23-36(事務所・醸造所)
代表	代表取締役社長 森裕佳子



事務所・醸造所外観

事業目的

地域課題解決への貢献 循環型社会形成への貢献

パーパス

「たのしさ・おいしさ・ここちよさ」がめぐる未来を、あなたと私たちが共創する。

ビジョン

価値提供から価値共創へ 競争戦略から共創戦略へ

事業領域

- サステナブルプロダクト事業
- サステナブルクラフトビール事業
- サステナブルコンサルティング事業
- 自治体・地域連携によるアサヒグループサステナビリティ活動の推進・提案



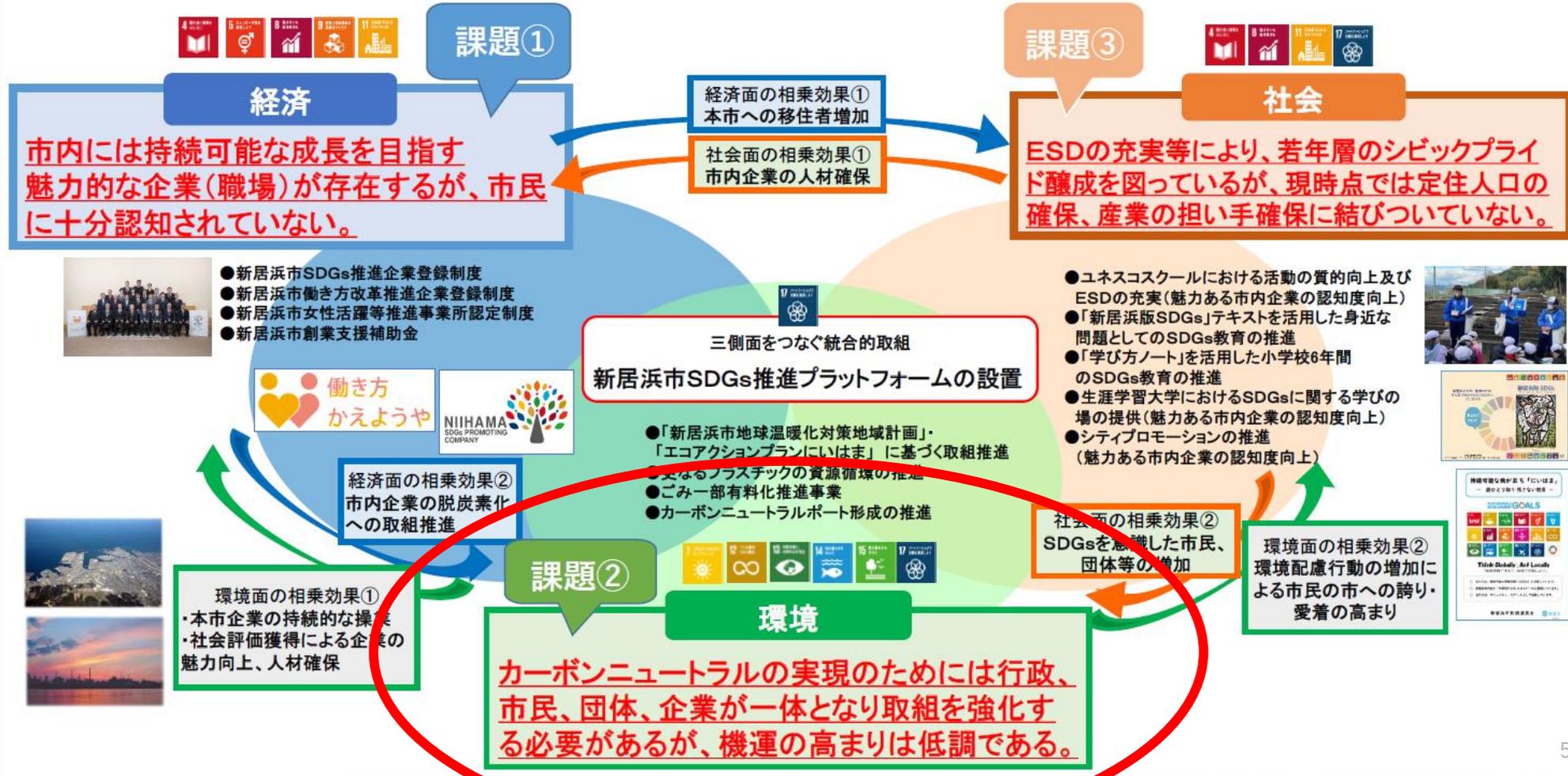
GOOD DESIGN AWARD 2022

BEST 100

アサヒユウアスの”共創による課題解決事業“が
「2022年度グッドデザイン賞」
グッドデザイン・ベスト100を受賞

解決したい課題

新居浜市における3分野の地域課題について



新居浜市分科会:これまでの取組み・成果と今後に向けて 分科会テーマ「資源循環推進によるカーボンニュートラルの推進」

目的

- ①プラスチックの資源循環、ごみ焼却・食品廃棄ロス削減を推進し、カーボンニュートラルに繋げる
- ②小中学生をはじめとした、市民の環境に対する意識向上

活動内容・成果

※詳細は、次ページ以降

- ①家庭用PETボトルの水平リサイクルの推進 → 自販機・小売り・清掃・環境関係
⇒ 啓発活動、回収・運搬方法に課題有。本年新たな提案にて対応
- ②未利用材を使用した「オリジナルタンブラー」製作によるごみ焼却、プラゴミ削減
→ 林業・農業、小売り・サービス・観光・イベント業
⇒ 取組みに賛同いただいた企業から1,420個受注(2024年7月納品)
⇒ メディアにも掲載いただいた
⇒ 今後も継続して受注を募っていく・・・価格・製造ロット数に工夫必要
- ③環境・SDGs認知度向上を目指した啓発活動
→ 教育関係、サービス業、観光・イベント業
⇒ 2月にイオン新居浜店チアズクラブで実施。
小・中学校への継続実施に課題。テーマ・内容に工夫必要
高校への実施も検討

2024年総括

継続案件はあるものの、複数の分科会メンバーに賛同いただき、取り組むことができた。今後も多くのメンバーとの共創を実現していきたい。

①家庭用PETボトルの水平リサイクルの推進



資源循環に向けて、家庭から回収したPETボトルからPETボトルへのリサイクル量を増やす

分科会参加企業

社会福祉法人 わかば会



全員でPETボトル回収に取り組む
⇒PETボトル回収、リサクル数量増

新居浜市窓口

市民環境部環境エネルギー局 廃棄物対策課
企画部 総合政策課(事務局)

進捗状況

2026年度実施に向けて関係各部署と再度調整

- ・新たな施策提案:2025年2月にヒアリング実施
- ・わかば会活動の支援
- ・小中学校の児童への環境学習実施による啓発
⇒継続実施に向けての対応工夫、再度取組み

今後の活動

2026年度からの切替に向けて取組み継続
2025年2月に新たな施策提案

②オリジナル森のタンブラー製作によるごみ焼却、プラゴミ削減

廃棄される間伐材等を加工したオリジナルタンブラー・マイボトルの活用推進。

分科会参加
企業団体等

三王ハウジング株式会社

▶ オリジナル素材森のタンブラー材料提供
⇒住宅建築で発生する未利用の木材の活用

社会福祉法人 新居浜市社会福祉協議会
社会福祉法人 わかば会
株式会社マイントピア別子
新居浜市

▶ 取組に賛同いただきタンブラー購入

新居浜市窓口

企画部 総合政策課(事務局)

進捗状況

会員企業に希望を募り、1,420個受注【2024年7月納品済】

■7月末までに納品済み

わかば会・・・利用者のカップとして使用⇒愛媛新聞取材あり。メディア露出
マイントピア別子・・・売店で販売

三王ハウジング、新居浜市社会福祉協議会、新居浜市・・・記念品として使用

■東京でもリリース対応:といあわせもいただく

今後の活動

■更なる賛同企業獲得に向けて活動

■毎年実施できるような仕組みづくり

事例② 愛媛県新居浜市：SDGs推進協議会分科会での提案

素材

未利用の住宅建築用木材の端材(SDGsプラットフォームの事業者提供)

費用

市のSDGs推進プラットフォーム分科会を中心に、市内6団体に購入してもらい活用



※デザインは全部で5種類



市内社会福祉施設の利用者に活用されている。

③環境・SDGs認知度向上・行動変容を目指した啓発活動

希望する小中学校で出前授業を実施。環境・SDGs認知度向上・行動変容を目指す

分科会参加企業

新居浜市生涯学習センター



イベントでのワークショップや出前授業で協力

新居浜市窓口

企画部 総合政策課(事務局)

2024年2月:イオン新居浜店チアズクラブ環境授業&ワークショップ実施

■本分科会で環境啓発を掲げている、新居浜市生涯学習センター原さんに協力をいただき実施。主催のイオン新居浜店からも評価いただき、今後も継続して実施していく計画
参加人数:12名

進捗状況



今後の活動

2025年度:継続実施に向けて課題有。テーマ・内容の工夫必要

2025年あらたな取組み【プラループ：ホテル用アメニティ資源循環】

- 使用・回収・リサイクル(静脈) と生産・販売(動脈) を一体化し、プラスチックの資源循環を実現する取組みです。
- 第1弾として「**宿泊施設の使い捨てアメニティ**」の 카테고리にて、plalooopプロジェクトを開始します。
- 初回の製造からリサイクルプラ100%であること、リサイクル工程で福祉連携を行うこと、歯ブラシto歯ブラシだけでなく、様々な用途に展開できる、などの独自性があります。

